

小学校第5学年2組 学級活動（1）学習指導案

【日時】令和4年11月1日(火) 10:00～10:45 【場所】5年2組教室 【指導者】矢川 亮太

本授業の主張点

これまでの成長と課題から本議題の意義を見いだしたり、「学びの宝箱」を活用して各教科等の学びとの関連から議題を捉えたりすることで、更なる成長に向けた実践への見通しをもつ児童の姿をお見せします。

- 1 議題名 秋もエンジン全開！～5の2バルーンフェスタで成長しよう～
学級活動（1） イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

2 議題の構想

(1) 議題について

色とりどりの熱気球が秋空を彩る「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」。目的地にどれだけ近づけるかを競うバルーン競技としてのおもしろさや、個性豊かなデザインの熱気球が優雅に浮かぶ姿は人々の心を惹きつけており、例年、多くの観光客で賑わっている。佐賀が誇る一大イベントを、学級のイベントとして議題にあげることは、地域の行事に関心を持ち、郷土への愛着を高める上でも非常に有意義であると言える。学級全員で楽しむにはどのようにすればよいのか、児童の多様な意見による活動の広がりから、試行錯誤する児童の姿が期待できる。また、理科「空気のあたたまり方」で得た知識を活用して、バルーンを浮かび上がらせるためにはどうしたらよいのか考えたり図画工作科で身に付けた技能を生かしてバルーンのデザインをしたりと、各教科等で身に付けた力が生かされることを実感するのに適した議題であると考えます。

(2) 児童について

本学級では、4月に、この学級でどんなことをしたいかを出し合い、年間の活動計画を立てている。その中で、「11月はバルーンフェスタをしたい」という意見が出され、学級の同意を得て実施することが決まった。本議題に至るまで、実践を通した学級と自分の成長について考える活動を積み重ね、自分がどのような目標を立て、どのような過程をたどり、どのような成長をしたのかを、活動全体を一枚のポートフォリオに記録することで、なりたい自分に向かって活動する過程で、友達の力を借りたり、自分のよさを発揮したりすることで成長できることを実感している。しかし、各教科等の学びが実践の場で生かされていると実感するという点においては課題が残る。各教科等の学びを関連付けて自身の成長について考えることは、中学校における自発的、自治的な活動や学級活動（3）「学業と進路」につながっていく。各教科等の学びと実践を結び付け、各教科等を学ぶ意義を理解できるようにしていきたい。

(3) 指導について

指導にあたっては、5の2バルーンフェスタで学級を成長させるという共通の目的の中で、各教科等の学びや友達との関わりを通して成長を実感できるようにしていく。本時は、議題の決定と位置付け、議題を行う意義を押さえた上で、本議題と各教科等のつながりを見通すことと、自分がどんな成長をしたいか考えることに重きを置く。まず、各教科等とのつながりを考えることができるよう、「学びの宝箱」の活用を図る。「学びの宝箱」とは、これまで各教科等で学んだことを「学習内容」「資質・能力」の視点で整理したものである。実行委員から語られた、本議題に対する思いと活動の見通しを踏まえ、どの「宝（学び）」が使えるかを問い、各教科等とのつながりを意識できるようにする。また、なりたい自分を明確に思い描くことができるように、議題を行う意義を確認し、学級として目指す姿を共有したり、これまでの自分の実践を振り返ったりする場を設ける。学級と自分との関わりやこれまでの自分の歩みから、本議題での自分の成長を見通すことができるようにする。話合い、実践の過程においては、自身の取組状況をポートフォリオに記録するよう促す。振り返り活動においては、自分が発揮した各教科等の学びや影響を与えた友達や学級の姿から自分の成長を考えることができるようにする。

(4) 深い学びについて

特別活動における深い学びの実現に向けて、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせること、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点を重視すること、学んだことを将来につなげることを大切にしていこう。「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせるとは、各教科等の見方・考え方を総合的に活用して、問題の解決に向けて実践していくことである。そして、その集団や自己における問題を、特別活動が従来大切にしてきた3つの視点で捉えることで、特別活動において育成を目指す資質・能力を高めていく。さらに、実践を通して学んだことを、これからの自分につなげていくことで、「社会で生きて働く資質・能力」を育成していくことができると考える。

以上のことを踏まえ、全体要項に示されている「深い学び」と特別活動における深い学びを照らし合わせ、本議題における深い学びの姿を表1のように整理する。

表1 本議題で目指す「深い学び」に関わる児童の姿

	「深い学び」に関わる児童の姿	本単元及び本時における児童の姿
①	学習活動に見通しをもち、計画を立てたり調整したりしながら、粘り強く取り組み続けている。学習課題に対して関心をもち、主体的に課題解決を図ろうとしている。	議題全体を通じた自分の成長を思い描き、自分の目標や学級として目指す姿を意識しながら粘り強く取り組んでいる。合意形成したことに対して前向きに取り組もうとしている。
②	「見方・考え方」を働かせながら思考・判断・表現し、自分の考えを再構築している。	学級の一員として、友達と協働的に関わったり、自分の役割を果たしたり、よりよい自分を目指して成長したりするために各教科等の学びを生かそうとしている。
③	知識が概念化し、知識の質が高まっている。	各教科等で得た知識が、実践の場で活用され、より実感を伴ったものとなっている。
④	学びの成果を次の学習や生き方に生かす目的意識や達成感を得ている。	自身の成長を実感したり、これからの学習や生活への意欲を高めたりしている。
⑤	他教科等の学びの経験を結び付け、意欲を高めたり、解決の道筋を広げたりしている。	各教科等との関連から議題を捉え、自分の高めたい力について考えたり、課題解決のために各教科等で学んだことを発揮したりしようとしている。

本議題において、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせることで、②や③、⑤の姿を表出し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点から①や②の姿に迫り、実践を振り返る活動を通して③、④の姿を目指していく。

本時は、②、⑤に大きく関わるものである。「学びの宝箱」の活用によって、各教科等の関連から議題を捉えることができるようにし、目指す学級の姿や議題の意義の共有から、なりたい自分を思い描くことができるようにしていくことで、深い学びの実現に迫っていきたい。

3 議題の目標と評価規準

(1) 議題の目標

自主的、実践的な活動を通して、各教科等の学びが学校生活で活用できることに気付き、課題解決のために試行錯誤し、更なる成長に向けて邁進しようとする態度を身に付けることができるようにする。

(2) 評価規準

ア 各教科等の学びが学校生活で活用できることに気付き、学ぶことの意義について理解を深めている。

【知・技】

イ 議題に対する解決方法について、多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、集団活動の中で自分を見つめながら実践している。

【思・判・表】

ウ 見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の成長を目指して前向きに活動に取り組もうとしている。

【主】

4 議題の指導計画（全4時間 本時1／4時間目）

過程	時	主な学習活動（○）	指導上の留意点（・）	評価規準（◆）【観点】
議題の決定	1 本時	○本議題を行う意義について共有し、提案理由を起こす。 ○議題全体を通し、各教科等の学びをどのように生かすことができるか見通しをもつ。 ○どんな力を高め、どんな自分になりたいか考える。	・バルーンフェスタについて既存の知識を出し合う場を設け、実践のイメージをもたせるとともに、各教科等との関連付けを図る。 ・これまでのポートフォリオを見返すよう促し、なりたい自分について考えるきっかけとする。	◆各教科等の学びが実践に活用できることに気付き、自分の成長に向けた活動の見通しをもつことができる。 【知・技】
話し合い	2	○5の2バルーンフェスタで何を行うか話し合う。 ○意見のよさを生かしながら合意形成を図る。	・提案理由に沿って意見を述べるよう促す。 ・話し合いを終えて、改めてどんなことを頑張りたいかを考える振り返りの場を設ける。	◆よりよい活動にするために、互いの意見のよさを生かしながら合意形成に向けて話し合っている。 【思・判・表】
実践	課外	○話し合いで決まったことに従い、役割分担して準備する。	・準備の過程で頑張ったことや課題となったことをポートフォリオに記録するよう声をかける。	◆学級の一員として、よりよい活動にするために、試行錯誤しながら準備している。 【思・判・表】
	3	○準備してきたことをもとに5の2バルーンフェスタを行う。	・それぞれの係で行ってきた準備の過程を価値付け、互いの頑張りが認め合える雰囲気づくりに努める。	◆自分の役割を果たしたり、友達と関わったりしながら、集団活動を楽しもうとしている。 【主】
振り返り	4	○活動を通して発揮した各教科等の学びや自身の成長について、記録してきたポートフォリオをもとに振り返る。	・「発揮した各教科等の学び」「自分に影響を与えた友達や学級の姿」という視点を提示し、自身の成長を実感できるようにする。	◆実践の過程で培われた自分の成長に気付き、これからの生活への意欲を高めている。 【主】

5 本時の指導（1／4）

(1) 深い学びの姿

学習活動に見通しをもち、計画を立てたり調整したりしながら、粘り強く取り組み続けている。学習課題に対して関心をもち、主体的に課題解決を図ろうとしている。	
「見方・考え方」を働かせながら思考・判断・表現し、自分の考えを再構築している。	○
知識が概念化し、知識の質が高まっている。	
学びの成果を次の学習や生き方に生かす目的意識や達成感を得ている。	
他教科等の学びの経験を結び付け、意欲を高めたり、解決の道筋を広げたりしている。	○

(2) 指導目標

議題を行う意義や各教科等の関連について考える活動を通して、各教科等の学びが実践につながることに気付き、なりたい自分に向けた活動の見通しをもつことができるようにする。

(3) 評価規準

ア 各教科等の学びが実践に活用できることに気付き、学級、及び自分の成長に向けた実践の見通しをもつことができる。 【知・技】

(4) 「見方・考え方」を働かせる手立て

- ・ よりよい学級とよりよい自分を目指すことを意識付けるために、本議題の価値について考える場を設ける。
- ・ 各教科等の学びを実践的な活動の場につなげるために、「学びの宝箱」を活用し、どの学びが今回の実践に使えるのかを問う。
- ・ 学級の一員として、どのように自分の力を発揮して成長できるかを考えることができるようにするために、これまでの実践について記録した自身のポートフォリオを参照するよう声をかける。

(5) 展開

学習活動と児童の反応 (□□□□)	教師の働きかけと形成的評価 (◆)																
<p>【議題】秋もエンジン全開！～5の2バルーンフェスタで成長しよう～</p>																	
<p>1 前回の実践における成果と課題を確認し、今回の議題を通して、どんな学級の姿を目指していくのかを共有する。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に準備や実践ができるようになったぞ。 ・今回はいろいろな工夫ができそうだ。お互いに声をかけ合って、高め合えるようになりたい。 <p>2 各教科等の学びがどのように生かせるか考える。(20分)</p>	<p>1-(1) これまでの学級の成長と課題を想起させるために、前議題の振り返りの板書を提示し、本議題の意義へとつなげていく。</p> <p>1-(2) 今回の議題を通してどんな成長をしたいかという実行委員の思いを語る場を設け、全体で意見を交流しながら目指したい学級の姿を明確にする。</p> <p>2-(1) バルーンフェスタについて知っている知識を出し合う場を設けることで、各教科等との関連付けを図りやすくする。</p> <p>2-(2) 「学びの宝箱」の中身を確認し、どのような学びが今回の議題で使えそうか問うことで、各教科等と今回の実践をつなげることを意識付ける。</p> <p>2-(3) まだ詳細な内容は決まっていないため、可能性として使えそうなものはたくさん挙げてよいことを伝える。</p> <p>2-(4) 具体的な場面が想定しやすいように、学習過程を提示し、どの場面でどのような学びが生かされそうかを考えやすくする。</p> <p>2-(5) タブレット端末を使って考えを出し合い、各グループで意見を交流しながら全員が活動に参加できるようにする。</p>																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">算</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">音</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">外</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">議題の決定</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話し合い</td> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実践(準備～本番)</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">振り返り</td> </tr> </table> </div>	社	理	国	体	算	図	音	理	外		議題の決定		話し合い	実践(準備～本番)		振り返り	<p>2-(6) 全体で意見を共有し、各教科等の学びを生かすことができる本議題を価値付ける。</p>
社	理	国	体	算													
図	音	理	外														
議題の決定		話し合い	実践(準備～本番)		振り返り												
<ul style="list-style-type: none"> ・4年生の社会で、佐賀の観光について調べた時にバルーンフェスタについていろいろなことが分かったよ。 ・バルーンが浮かぶ仕組みは、理科の「空気のあたたまり方」で習ったよ。実際にやってみたいな。 ・話し合いの時には、国語で身に付けた伝える力が役立つそう。 ・自分オリジナルのバルーンをデザインするときには、図工の力が生かされそうだね。 ・距離を測ったり、点数を計算したりするのは算数かな。 ・雰囲気合うBGMを選ぶなら、音楽の力だね。 ・競技のルール作りは体育でもやってるね。 ・今外国語で「外国の人にバルーンフェスタを紹介しよう」という学習をしているよ。実践が終わった後に、おもしろさを伝えられるかもね。 	<p>◆ 各教科等の学びが実践に活用できることに気付いているか。(観察・発言) 【知・技】</p> <p>B 各教科等の学びと本議題のつながりに気付いている。</p> <p>C→ 具体的な活動場面を想定し、「学びの宝箱」の中から、その場面で使えそうなものはないか問いかける。</p>																
<p>3 本議題を通して、どんな力を発揮して、どんな成長をしたいか、個人で考える。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことはもちろん、友達の頑張りにも目を向けて、アドバイスをしたり励ましたりできるようになりたい。 ・図工が好きだから、デザインをしたり工作をしたりする活動に挑戦して、自分の得意なことをさらに伸ばしたい。 ・今までの実践では、時間を守って活動することを目指して、少しずつできるようになってきた。今回は、ルールを決めたり、分かりやすく説明したりすることができる自分を目指したい。 	<p>3-(1) 学級として目指す姿、各教科等の学びとの関連という視点を意識付けることで、学級との関わりや各教科等とのつながりの中からなりたい自分を思い描くことができるようにする。</p> <p>3-(2) これまでの実践について記録した自身のポートフォリオを見返すよう声をかけることで、現在に至るまでの自分の変容を踏まえて、今回更に成長したいことについて考えることができるようにする。</p> <p>3-(3) 近くの児童との交流を促したり、数名の児童が全体で発表する場を設けたりして、互いの目標を認め合い、みんなで励まし合いながら学級全体で成長を目指していくという雰囲気づくりに努める。</p>																
<p>4 決まっていることを確認し、話し合い活動への見通しをもつ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しめるための意見を考えておこう。 ・どんな活動になるか楽しみだな。 ・なりたい自分に向けて頑張ろう。 	<p>4-(1) 日時、場所、話し合うこと(柱)を確認し、次時の話し合い活動に向けて、自分の意見を考えておくことを伝える。</p> <p>4-(2) 本議題を通して、学級と自分が成長できることを再度確認し、話し合い活動及び実践活動への意欲を高める。</p>																